

楽天ポイント使えるKドリ杯 おつけもの慶20周年カップ



11/24(金) 25(土) 26(日) FII GIRLS KEIRIN 開催 デイ 川崎スポーツ

レース展望

11月24日からの川崎競輪はF2戦。この開催は日中に行われる。ガールズケイリンを含めた12レース制。

シリーズの主役は地元ホームの金田涼馬(神奈川119期)。積極的な栗田万生(千葉111期)と共に南関ラインをけん引する。田中孝彦(静岡91期)らが援護をしつつVを狙う。北日本勢は機動型が豊富。佐々木吉徳(秋田100期)を筆頭に若手の邊見光輝(福島119期)、照井力斗(岩手121期)らが顔を揃えている。関東勢は機動型が少なく、競走得点上位の寺沼将彦(東京111期)は苦戦を強いられそう。場合によっては自ら

在に戦うこととなりそう。遠征勢は中四国と九州地区からのあっせん。米嶋恵介(岡山119期)が軸となる。底力ある戸田康平(香川101期)や、自在に戦うことも可能な佐藤健太(福岡101期)らが主な戦力となりそう。

チャレンジ戦は123期のルーキー4名が中心となるが、なかでも松本京太(静岡123期)は特昇班に王手を掛けて失敗したものの、高い機動力を各地で披露している。石川航大(宮崎123期)も10月松阪で初優勝を決めてから、本格化の兆しが見られる。佐藤謙士郎(埼玉123期)も先行力は高く

既に優勝を経験しているが、まだムラはある。岡本翔(愛媛123期)は準決勝が壁になり、他3名よりも出遅れている感はあるが、積極的な走りで少しずつ力は付けている。

ガールズケイリンは突出した存在が無く波乱含み。主力となるのは高橋梨香(埼玉106期)、岡本二菜(東京118期)、篠崎新純(千葉102期)、永禮美瑠(愛知118期)らだが、いずれも自在型で飛び抜けた自力型が居ない開催。誰が勝ってもおかしくない開催と言える。地元ホームの中村美那(神奈川118期)は苦戦が続いているが、流れひとつで上位を破る力は十分にある。

地元ホームの金田涼馬が初V狙う

A級 主力選手



金田涼馬 神奈川 119期

ダッシュ力が持ち味の金田涼馬だが、デビュー以来積極的な姿勢を貫いて、先行力に磨きがかかってきている。しっかり逃げ切れる地脚が付いてきたようだ。着実にレベルアップしている地元期待の若手で、1、2班戦での初優勝も時間の問題と断言していいだろう。

A級 主力選手



米嶋恵介 岡山 119期

社会人を経て競輪ファンから選手を目指した異色の経歴を持つ。ファン目線も知っているからこそ、流れに応じた柔軟な走りができるのも魅力のひとつ。来期からはいよいよS昇級。脚力もレースへの対応力にも磨きをかけて来期を迎えたいところ。連日の走りに注目。

A級 主力選手



邊見光輝 福島 119期

デビュー以来積極的な走りで力を付けている邊見光輝。まだまだ先手取れなかった時のもろさもあるが、主導権を取り切った時は強靭な地脚を発揮する。展開次第では突っ張り先行もあるし、戦い方にブレはない。今後の成長が楽しみな北日本の若手先行型だ。

A級 注目選手

松本京太 静岡 123期



デビュー当初はまだムラもあった松本京太だが、近況はしっかりと脚力を発揮できるようになり勝率もぐんと上がってきている。アマチュア時代は中長距離を中心に活躍しており、地脚寄りの脚質なようだ。今シリーズは南関地区の先導役として頼もしい存在となる。

ガールズ 注目選手

高橋梨香 埼玉 106期



デビュー以来、トップクラス相手でも堅実な走りで活躍する自在型。大崩れも無く、勝ち星こそ少なめだが常に3連対率は6割近くで維持している。今期は9月平塚で久々のVを挙げるなど気配は良い。突出した存在が居ない今回も、優勝候補の一角として注目だ。

対馬太陽神奈川選手会支部長に聞く川崎新バンクガイド



対馬太陽選手(神奈川85期)

バンクやスタンドの改修が行われた川崎バンクは、かなり特徴に変化が見られそう。ホームバンクの南関東地区本部長でもある対馬太陽選手(神奈川85期)に聞くと「バンクがきれいになり、走路のガタツキが取れて、クセも無くなり走りやすくなった。あとはホームの向かい風が少し強く感じるようになった気がします」と話す。同じ南関東地区なら、平塚や静岡競輪場に近付いたイメージで最初は予想してみたい。

競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル